

道徳通信 No.1



安田中学校
文責 元久
令和6年7月17日

今年度も「道徳通信」を通して、生徒の皆さんが道徳の時間にどんなことを学習しているのかをお伝えしたいと思います。

道徳の時間では以下の4つの項目を学習しています。

- A. 主として自分自身に関すること（節度、節制、強い意志、自主自律、自由と責任、向上心など）
- B. 主として人とのかかわりに関すること（礼儀、思いやり、感謝、友情、信頼など）
- C. 主として集団や社会とのかかわりに関すること（遵法精神、公德心、勤労、家族愛、郷土愛など）
- D. 主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること（生命の尊さ、畏敬の念、生きる喜びなど）

「道徳通信」がご家庭でもこれらのことについて話す機会になれば幸いです。

◆各学年の授業の振り返りから

1年：「目標は小刻みに」

小さな目標を設定し、それらを達成していくことで完走できた「私」の心の動きについて考えることを通して、目標の達成が希望や勇気を生み出すことに気づき、目標に向かって困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げようとする姿について学びました。

- いきなり大きな夢じゃなくてもいいから、小さい夢を積み上げていくような感じ。あきらめないこととどんなことでもやると決めたらやる！
- 私は最初に大きい夢を目指してそれまでしっかり努力したりする方で、なぜならしんどい努力でもそれに向かって頑張ろうとなるからです。これから目標を立て、それにずっと向かい続けられるように頑張りたいです。
- ぼくは大きい夢からではなく、小さい方からやっていき、小さい目標を達成したらだんだんと上げていき、最終的には大きな目標を作ってその目標を達成したいです。

2年：ジョイス

誤審の翌日も審判を務めようとするジョイスに対するガララーガとタイガースの監督の心情を共感的に理解することを通して、誠実な生き方の良さに気づき、自律的な行為の結果に責任を持ち、人間として誇りを大切にすることを学びました。

- 私は間違えてしまうと、自分が間違えたことは隠して人に押し付けてしまうことがあ

ります。でもジョイスは私が間違えることよりも大きい間違いをしたけれど、隠さず謝っていたことを私も見習いたいと思いました。間違えてもその後の行動が大切。

- 私は大体間違いをしても恥ずかしくて言いたくないので、ジョイスさんのように誠実にはできないと思いますが、今日の学習のおかげで怒られないからいい、見つからないからいいというのではなく、ちゃんとした事実を伝えることが大切ということが分かりました。
- 自分も日常生活で何かを壊したりしたときに、素直に謝ったり言ったりすることもあります。これならバレないと思って隠しておくこともあります。小さなミスなら謝ったりすることはできますが、ジョイスのような大きなミスはあまり言うことができないと思います。でもそれを隠し続けてもいいことはないと思うので、失敗したことを次に生かしていきたいです。

3年：「原稿用紙」

お世話になっていた難波商店の専務から電話を受け、話を聞いた筆者の心情を考えることを通して、互いに支え合う関係性の大切さに気づき、思いやりの心と感謝の念による人と人とのつながりの大切さについて考えました。

- 身の回りに本当に悪い人はいないので、仲良くなるために思いやりの行動をしたり、自分がされて嫌なことはしないようにしていきたい。
- 「ありがとう」など会話をし、親切にされることを当たり前とは思わない。
- お互いが思いやりの気持ちを持って、支える、支えられるの関係を作れるようにしたいと思いました。
- 自分がされたいことをすると、相手もしてくれるので、「ありがとう」と「ごめん」はすぐ言えるようにします。

家庭で取り組む高知の道徳について



自由な時間が増える夏休みは自分で考えて行動する場面が多くなります。「家庭で取り組む高知の道徳」のP.26の「自由と自分勝手は違う」に目を通して、自由や責任について感じたことをP.27に書いてみましょう。ご家庭でもぜひ一緒に確認をお願いします。

〈返信〉 () 年 氏名 ()